

第2回
東北野生動物管理研究交流会 in ふくしま

東北の

野生動物管理

を考える

2015. 11. 28. Sat.

10:00 - 17:15 (9:30 開場)

福島大学 金谷川キャンパス L4 教室

入場無料 | 要申込 (裏面参照)

申込締切 | 2015. 10. 30 (Fri.)

定員 | 先着 150 名

基調講演

鳥獣対策の次の一手

平田滋樹氏 (長崎県農林部農山村対策室)

福島セッション

福島の野生動物管理を考える

奥田圭氏・藤松翔太郎氏・小寺祐二氏・今野万里子氏

ポスター展示

野生動物に関する事例紹介 | **発表者募集中!**

主催 | 山形大学 YU-COE(C) 人口減少社会適合型野生動物管理システム創生拠点, 福島大学

後援 | 福島県, 「野生生物と社会」学会

研究交流会実行委員

山形大学 | 江成広斗 (拠点代表)・林田光祐・玉手英利, 福島大学 | 奥田圭・西崎伸子, 山形県森林研究研修センター | 斉藤正一, (同) 東北野生動物保護管理センター | 宇野壮春, 福島県農業総合センター | 木幡栄子, 新ふくしま農業協同組合 | 今野文治, 福島二ホンザルの会 | 大槻晃太, 野生どうぶつ調査団 (交流会事務局) | 奥田加奈・江成はるか

開催趣旨

野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く認識されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、中山間地における急速な人口減少が考えられます。

そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論します。

福島セッション (10:15 ~ 12:30)

福島の野生動物管理を考える

帰還困難・居住制限区域内における野生動物の生息状況 | 奥田圭 (福島大学)

帰還に際する住民の野生動物被害に対する不安 | 藤松翔太郎 (NHK 福島放送局)

低レベルで放射能汚染された地域におけるこれからの野生動物管理 | 小寺祐二 (宇都宮大学)

会津地方におけるこれからの民間団体の役割を考える | 今野万里子 (NPO法人 おいでらす)

基調講演 (15:25 ~ 17:05)

鳥獣対策の次の一手 平田滋樹 氏 (長崎県農林部農山村対策室)

野生動物に関する事例紹介 発表者募集中！(先着30題)

発表例

野生動物の生態に関する基礎・応用研究

野生動物の問題解決に向けた地域づくり

野生動物に関する事例のみを対象とします。
(愛玩動物は含まれませんのでご了承ください)

※発表を希望される方は、下記連絡先からお申込み下さい。

ポスターパネルのサイズは、175 cm (縦) × 120 cm (幅) となっております。

懇親会 (17:30 ~ 20:00)

参加者の皆様と交流しましょう！

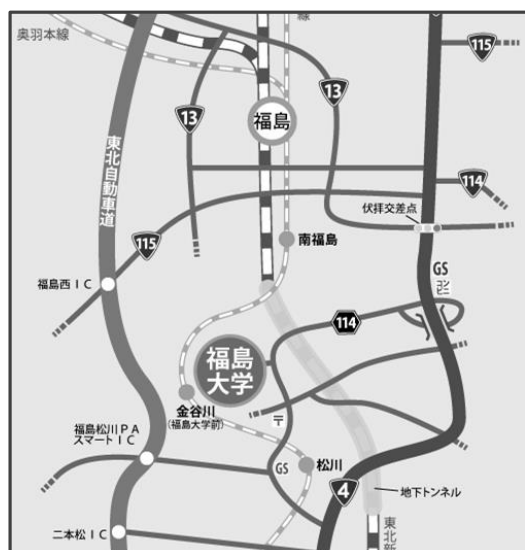
懇親会会場 | 福島大学生協

定員 | 先着 100 名

会費 | 3000円 程度

(参加をご希望の方に後程提示いたします)

懇親会は、事前申し込みが必要です。
当日参加は受け付けておりませんので、
ご注意ください。



アクセス 福島大学金谷川キャンパス (福島県福島市金谷川1番地)
鉄道 | JR金谷川駅 下車 徒歩5分

[JR金谷川駅: 福島駅から2駅, 郡山駅から8駅]

高速道路 | 東北自動車道 福島松川スマートICより 5.5km

※大学構内への自家用車乗り入れは可能ですが、駐車スペースが限られています

お問い合わせ(申込)先

FAX(電話対応不可) | 0235-28-2925

E-mail | tohoku.wildlife@gmail.com

氏名・所属・連絡先・ポスター発表の有無
(発表する際はタイトルと共同発表者名を記載)・
懇親会参加の有無を記載してください。